

1. 渋滞インフォメーション

NEXCO東日本では渋滞情報をインターネットなど各種の媒体を通じて提供しており、お客さまは旅行計画段階、旅行の出発前、走行中、休憩中など、いつでもどこからでも情報を入手できます。

(1) 旅行計画に役立つ渋滞予測情報

①ドライブプラザ(NEXCO東日本)

パソコン:[<http://www.driveplaza.com/>]

スマートフォン:[<http://www.driveplaza.com/smp/>] 携帯電話:[<http://m.driveplaza.com/>]

インターネットで、渋滞予測を見込んだ渋滞予報カレンダー(全国の高速道路の渋滞情報)を提供しています。

②リーフレット(渋滞予報ガイド)

高速道路の各サービスエリアのインフォメーションや各料金所事務室などでお配りする予定です。

(2) お出かけ前に入手できる道路交通情報

①ドライブトラフィック(NEXCO東日本)

パソコン:[<http://www.drivetraffic.jp/>]

スマートフォン:[<http://www.drivetraffic.jp/smp/>] 携帯電話:[<http://m.drivetraffic.jp/>]

インターネットでリアルタイム(5分ごとの更新)で全国の交通情報を、24時間入手できます。

「雪道ライブカメラ」で天候や路面状況をご覧いただけます。

②(財)日本道路交通情報センター提供の道路交通情報

パソコン:[<http://www.jartic.or.jp/>]

インターネットで道路交通情報や、有人問合せ先の電話番号が入手できます。

③ハイウェイテレホン(電話番号は2.(1)をご覧ください。)

リアルタイム(5分ごとの更新)で主要道路の交通情報を、24時間入手できます。

なお、運転中のドライバーが携帯電話やスマートフォンを使用することは禁止されていますので、高速道路上ではサービスエリア、パーキングエリア内に駐車してからご利用ください。

(3) 走行中に入手できる道路交通情報

①道路情報板

②ハイウェイラジオ(1620kHz)

③VICS(VICS対応のカーナビゲーションなどで入手できます。)

④ETC2.0(ETC2.0 対応のカーナビゲーションで入手できます。)

(4) 休憩中に入手できる道路交通情報

①ハイウェイ情報ターミナル(サービスエリアなどに設置)

テレビ画面などにより、分かりやすくお知らせします。

②ハイウェイテレホン(上記(2)③と同様)

③サービスエリア内のインフォメーション、案内看板などで交通情報を入手できます。

2. 道路交通情報のお問い合わせ先

(1) ハイウェイテレホン(5分ごとに最新の情報を24時間案内)

携帯短縮ダイヤル #8162(固定電話ではご利用できません。)

(固定電話用番号一覧)

<u>北陸道・関越道・上信越道・磐越道・ 日東道情報</u>	新潟局	025(286)1620
	上越局	025(535)1620
	湯沢局	025(784)1620
<u>北陸道・上信越道情報</u>	富山局	076(476)1620
	金沢局	076(253)1620
	福井局	0776(57)1620
	敦賀局	0770(21)1620
<u>関越道・上信越道・磐越道情報</u>	前橋局	027(252)1620
	所沢局	04(2946)1620
<u>関越道・上信越道</u> ・長野道情報	長野局	026(278)1620
東北地区情報	郡山局	024(961)1620
	仙台局	022(711)1620
東北道(関東地区)・常磐道・ 東京外環道情報	宇都宮局	028(665)1620
	岩槻局	048(758)1620
	水戸局	029(254)1620
	柏局	04(7171)1620
	大泉局	03(3922)1620
東関道・館山道・京葉道路・ 千葉東金道路・東京湾アクアライン情報	千葉局	043(257)1620
東名高速情報	東京局	03(5491)1620
中部地区情報	名古屋局	052(709)1620
近畿地区情報	大阪局	06(6876)1620

(2) 日本道路交通情報センター

全国共通ダイヤル 050(3369)6666

携帯短縮ダイヤル※ #8011

※ 全国どこからでも最寄りの情報センターに接続されます。

3. お客さまへのお願いとお知らせ

お客さまに高速道路を安全にご利用いただくために、次のことをお願いします。

(1) 冬用タイヤなどの早期装備

冬用タイヤへの早めの交換をお願いするとともに、高速道路をご利用の際は、「十分な車間距離の確保」、「スピードは控えめ」、「急ハンドル・急ブレーキは行わない」など安全運転をお願いします。

(2) 早目・適度な休憩をとって安全運転

「高速道路に入り走行距離 100 km未満、時間にして約 1 時間以内」の場所で死亡事故が約 5 割発生しています。このうち約 27%が居眠り運転や考え事などの漫然運転によるものです。高速道路に入ったら早目に休息をとみましょう。また、夜間運転や長時間運転は疲れやすくなります。サービスエリア・パーキングエリアを利用して適度な休憩をとって、安全運転を心掛けてください。

最近サービスエリアやインターチェンジなどから進入方向を間違えるなど、高速道路本線を逆走して事故に至るケースが発生していますので十分に注意してください。

(3) 除雪作業へのご理解とご協力

高速道路上の除雪作業は、走行中のお客さまの安全を確保しながらの作業となることから、車線を一時的にふさいだ状態で50km/h以下の低速により実施しております。また、道路の凍結を防止するために凍結防止剤を散布する作業を実施する場合があります。これらの作業は、お客さまに安全に高速道路をご利用いただくための重要な作業です。走行中にこれらの作業に遭遇した場合は、作業車両との車間距離を十分に確保して、無理な追い越しなどの危険な行為はご遠慮ください。

ご理解とご協力をお願いします。

(4) 後部座席でもシートベルトを着用

平成20年6月1日から全席シートベルト着用が義務付けられています。シートベルトは命綱！衝突時の身体への衝撃を和らげてくれます。運転席、助手席だけでなく、後部座席においてもシートベルトの着用をお願いします。

また、6歳未満のお子さんはチャイルドシートの使用が義務付けられています。お子さまの安全確保のためにも体格に合ったチャイルドシートの使用をお願いします。

(5) 走行中の故障トラブルを防ぐため、走行前に車の点検

高速道路上での故障トラブルは、事故や渋滞の原因となります。故障トラブルの大半が走行前の基本的な車両点検で防げるものです。特に、燃料、タイヤ、オイル、冷却水の点検を忘れずにお願いします。

(6) ご出発の前に、積荷のチェック

積荷の落下等が多発しています。出発前には、必ず積荷の点検をしてください。

(7) ETCレーンは十分に車間距離をとり、徐行により安全に走行

ETCレーンでは、前車と十分な車間距離をとった上で、開閉バーの手前で安全に停止できるよう十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認して通行してください。

(8) 渋滞後部での衝突事故に注意

渋滞発生時には、渋滞の車列の中や渋滞後部での追突事故が発生しやすくなります。

協見をせず安全運転を心がけ、渋滞に遭ったらハザードランプで後続車に合図するなど、追突事故の防止に心掛けてください。

(9) 万一、事故や故障が起きた場合、安全な場所にすみやかに避難

高速道路上で人がはねられる事故が発生しています。

交通事故や故障により停止した場合、道路上にとどまることは非常に危険です。

ハザードランプや三角停止表示板、発炎筒などで後続車に危険を知らせたら、通行車両に注意して

すみやかにガードレールの外など安全な場所に避難してください。

また、非常電話等による通報をお願いします。

(10)道路の異常は道路緊急ダイヤル「#9910」で通報

通行の支障となる高速道路の穴ぼこや路面の汚れ(油、土砂)、落下物、故障車などを発見したら、道路緊急ダイヤル「#9910」または非常電話でご一報ください。ただし、運転中の携帯電話やスマートフォンでの通話は禁止されていますので、ご注意ください。